

その見方、実は・・・

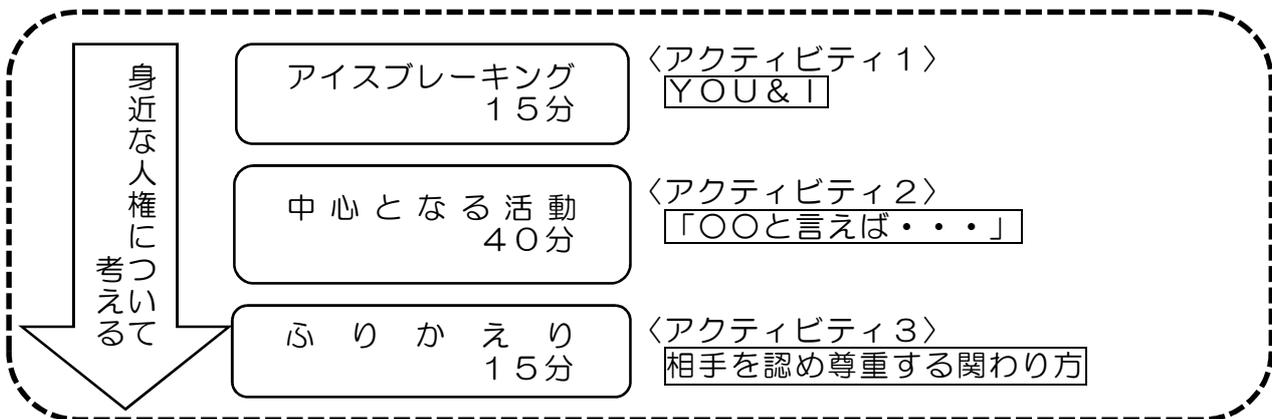
個人の尊重

ねらい

DVDの視聴をとおして、思い込みや固定観念は他者の権利を侵害することがあるということに気付くとともに、相手を認め尊重する関わり方について考えます。

時間	70分	人数	1グループ3～4人
準備物	DVD「となり」（6分） 制作：県立鹿沼東高等学校 放送部 （平成28年度とちぎの高校生人権映像作品コンクール 入賞作品） ワークシート①・②		

学習の流れ



<アクティビティ1> YOU&I

活動のねらい

活動をとおして、自分が思う相手に対する印象の違いや共通点に、気付きます。

活動の進め方

- 1 ワークシート①の内容を確認し、自分に当てはまる質問項目の番号に○を付けます。
- 2 二人組になりジャンケンをし、勝った人から相手か「Yes」と答えると思う項目を質問します。「Yes」の場合はサインをもらいます。（負けた人も同様に）
- 3 時間内に相手を替えながら2の活動を繰り返します。（5分）
- 4 自分が○を付けた項目とサインを比べ、活動の感想を話し合います。

実施の際のポイント

ワークシート①のNo.9、10の空欄には、自分で考えた質問項目を記入します。

簡単な自己紹介をしてから、ジャンケンをします。

相手との違いや共通点を大切にします。

<アクティビティ2> 「〇〇と言えば・・・」

活動のねらい

DVDの視聴をとおして、思い込みや固定観念は、差別につながることに気付きます。

活動の進め方

- ワークシート②を記入します。
 - ワークシート②の項目（人、職業）について、印象を思いつくままに記入します。
 - 記入したことについて、グループで共有します。

（例）

 - 保育所の先生は、若くて優しい。
 - トラックの運転手は、車間距離を詰めてくる。など
- DVDを視聴します。

〈資料名〉「となり」（6分）
- 作品中の三つの場面で、高校生の言動についてグループで話し合います。

（例）

 - 重いものは男性が運ぶべきだと決め付け、女子生徒が男子生徒に脚立を持ってきてと発言している。
 - 耳の不自由な友人には、台詞のない役の方がよいはずだと、本人の意思を確認せず配役を決めている。
 - 携帯電話はスマホが当たり前であると、スマホを持たない友人を否定する発言をしている。
- ワークシート②に記入したことについて、思い込みや固定観念はないか、グループで話し合います。

※話し合いで出た気付きなどを、いくつかのグループに発表してもらう。

実施の際のポイント

人や職業に対する印象は時には偏った見方になることもあります。

その後のDVDの視聴をとおして、活動4につなげます。

視聴前に、この作品は、平成28年度とちぎの高校生人権映像作品コンクール入賞作品で、「人権」について高校生の目線で制作されたことを紹介します。

考えを整理しやすいように、掃除の場面、劇の配役の場面、友人同士の会話の場面について話し合うことを伝えます。

「男性は…」「耳が不自由な友人は…」「携帯は…」のような言動は、思い込みや固定観念であることを確認します。

思い込みや固定観念が、差別や偏見につながる可能性があることに気付きます。

<アクティビティ3> 相手を認め尊重する関わり方

活動のねらい

多様な見方を尊重し、生活の中に生かしていくことを考えます。

活動の進め方

- 活動をとおして、思い込みや固定観念に対する気付きや分かったことを、今後の生活にどう生かしていくかグループで話し合い、ふりかえりをします。

実施の際のポイント

多様な見方は、一人一人を大切にし、尊重した見方であることに気付きます。

ほかの人の意見を参考にしながら、自分の考えをまとめ、今後の生活に生かせるようにします。

資料について

〈資料名〉「となり」（DVD 6分） 制作：県立鹿沼東高等学校 放送部
 〈あらすじ〉

課題の人権作文に何を書いたらいいのか分からず困っていたナツキは、隣のクラスのスミシに促され、作文のヒントを探しに学校内を探検することになった。

スミシに導かれ、掃除をしている教室をのぞくと、男子生徒に向かって「女子に重いものを持たせるな。」と、怒っている女子生徒の声が聞こえてきた。次に向かったのは、劇の配役に悩む生徒がいる教室。台詞がない役を、耳が不自由なクラスメイトにやってもらったらどうかと相談する二人。最後に向かったのは、スマホを話題におしゃべりする生徒がいる教室。スマホを持たない友人に向かって、「ガラケーなんてダッサ。」という発言を耳にする。

学校内の出来事を改めて見直してみると、様々なことが人権と関わりがあることにナツキは気付くことができた。

平成28年度とちぎの高校生人権映像作品コンクール そのほかの入賞作品

「小さなきっかけから」（4分12秒）※

小山城南高等学校 丸山琴音

消しゴムたちの仕事は何かを消すこと。ある日大量の仕事を任せられ困っていると、色の違う消しゴムが協力を申し出てきた。しかし、色の違いを理由にきれいに消せないはずと決め付け断ってしまう。

「ネット書き込み、その前に」（44秒）※

栃木高等学校 1年有志

気軽にインターネットを使えることは、メリットでもありデメリットでもある。安易に他人への誹謗中傷を書き込んだり他人の個人情報を無断で公開したりする行為は、人権を侵害する行為であると注意を促す。

「あなたの一歩で」（30秒）

栃木女子高等学校 放送部

車椅子が脱輪して困っている人を見かけたとき、見て見ぬふりをして通り過ぎる人もいれば、勇気を出して一歩を踏み出し優しく手を差しのべる人もいる。その一歩を踏み出すことの大切さを訴える。

「愛し合って、ごめんなさい。」（3分22秒）

足利工業高等学校 産業デザイン科 チーム ASHIKO

トラとウサギのカップルは、種類の異なるカップルのため周囲からの好奇の目にさらされ傷つく。周囲の反応を気にして一度は別れを決意するが、大切なのは互いの気持ちであることに気付く。

※ とちぎインターネット放送局（5ch）で視聴することもできます。

全ての作品が収録されたDVDは、各教育事務所に配置しております。

YOU&I

NO.	質 問	サイン
1	毎日、コーヒーを飲んでいる。	
2	朝食は、ご飯よりパンが好き。	
3	健康のため、運動をしている。	
4	車の中では、よくラジオを聴く。	
5	使いやすいのはスマホよりガラケーだ。	
6	旅をするなら電車がいい。	
7	映画を観るなら映画館が一番！	
8	とても趣味が多い。	
9		
10		

「〇〇と言えは・・・」

次の人はどのような人でしょうか。見た目は？性格は？性別は？など、思いつくままに印象を書いてみましょう。

<p>① 保育所の先生</p>	
<p>② 高齢者</p>	
<p>③ トラックの運転手</p>	

(気づき・分かったこと)